THE WOMAN'S WEEKLY

第五卷 第九號

大正八年三月七日發行 (毎週發行 金曜日)

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□女子教育界の先覺者
成瀬仁藏氏を惜しむ……小橋三四子
□我校校長吊問記……記者
成瀬仁藏氏の略歴……記者
□一切か無か（上）……有島武郎
□新らしい學校 新らしい校長「新らたに女子部を設けんとする東洋大學」……記者
□話しにもない貧に陷つた家族……記者
□讀者から……
□一疊敷きの書齋……[illegible]田[illegible]
□春の會席……久野[illegible]
□オハナシ「アリスの冒險」……[illegible]古[illegible]子
□小說「勝利」……[illegible]
□時事……編輯室より

定價一部五錢 郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三越の催物

春向丸帯陳列會

三月一日より催します、新意匠を凝したる當春の流行品、三越獨特の季節向丸帯の陳列であります……

東北振興會主催

東北名產品陳列會

三月五日より廿日まで開催、青森、岩手、宮城、福島、秋田、山形六縣の特種名產品が一堂に陳列されます……

小村大雲氏繪畫展覽會

三月廿九日より卅一日迄開會、先生の近作にかゝる傑作揃の展覽會で御座います……

東京 三越呉服店

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子教育界の先覺者
成瀨先生を惜しむ

＊

日本女子大學校長成瀨仁藏氏は肝臟癌を患へ、醫師より不治の宣告を受くるや、爾來月餘に亙つて、長き奮鬪生活の最後の結論として、女子の綜合大學の首石を据え、多年の共勞者の恩惠を謝し、後繼者を指定し、門弟等に告別を爲し、今は此の世に思ひ憂ふ事もなく、心長閑に枕頭を圍む珍花を賞で、人情の美を稱へつゝ、靜かに永生を思ひ、四日午前八時二十分、多くの共勞者、門弟等に圍まれて、古への聖者に聞く大往生の如く長逝されました。六歲にして母に別れ、十四歲にして父を失ひ、爾來僅かに一年の師範教育を受けたるのみにて、獨學を以て世に起ち、十七歲にして女子教育の使命を自覺し、以後四十餘年間、不撓不屈の精神を以て、終に女子大學を創設し、進んで女子の綜合大學を計畫する迄、空前の大事業を成就したるその最後は、犧牲、献身者に稀れに見る輝かしいものであつたと申さねばなりませぬ。

＊

氏が事を計畫するや「石橋を叩いて渡る」といふ言葉が、眞實適はしい程、小心翼々、用意周到のものがありましたが、一と度これに着手するや、獅子奮迅の勢ひを以て突進されました。男尊女卑の觀念が遺傳的に強く浸み渡つて居る我が國に於て、早く女子教育の必要を稱道し、進んで女子の高等學府を開く難事業を成功したのは、氏のかゝる性格が與つて力ある事は申す迄もありませぬ。然し一般の事物を成功不成功を以て、價値を定める事は出來ない中にも、教育の如く精神的の事業は、最も其價値は内部的に問はなければなりませぬ。「疊の上では死なぬ」との強い覺悟を持つて居られた成瀨校長は、恐らく其の事業の成否は眼中になく、寧ろ今日の成功、平和の臨終の思ひ設けぬものであつたかも知れませぬ。事業的の成功が大きかつた丈け、門弟を始め、世人等が其の精神を掬む眼が眩惑することがあれば、我が婦人界の一大恩人たる成瀨仁藏氏を、最も辱かしむるものであると云はなければなりませぬ。

＊＊

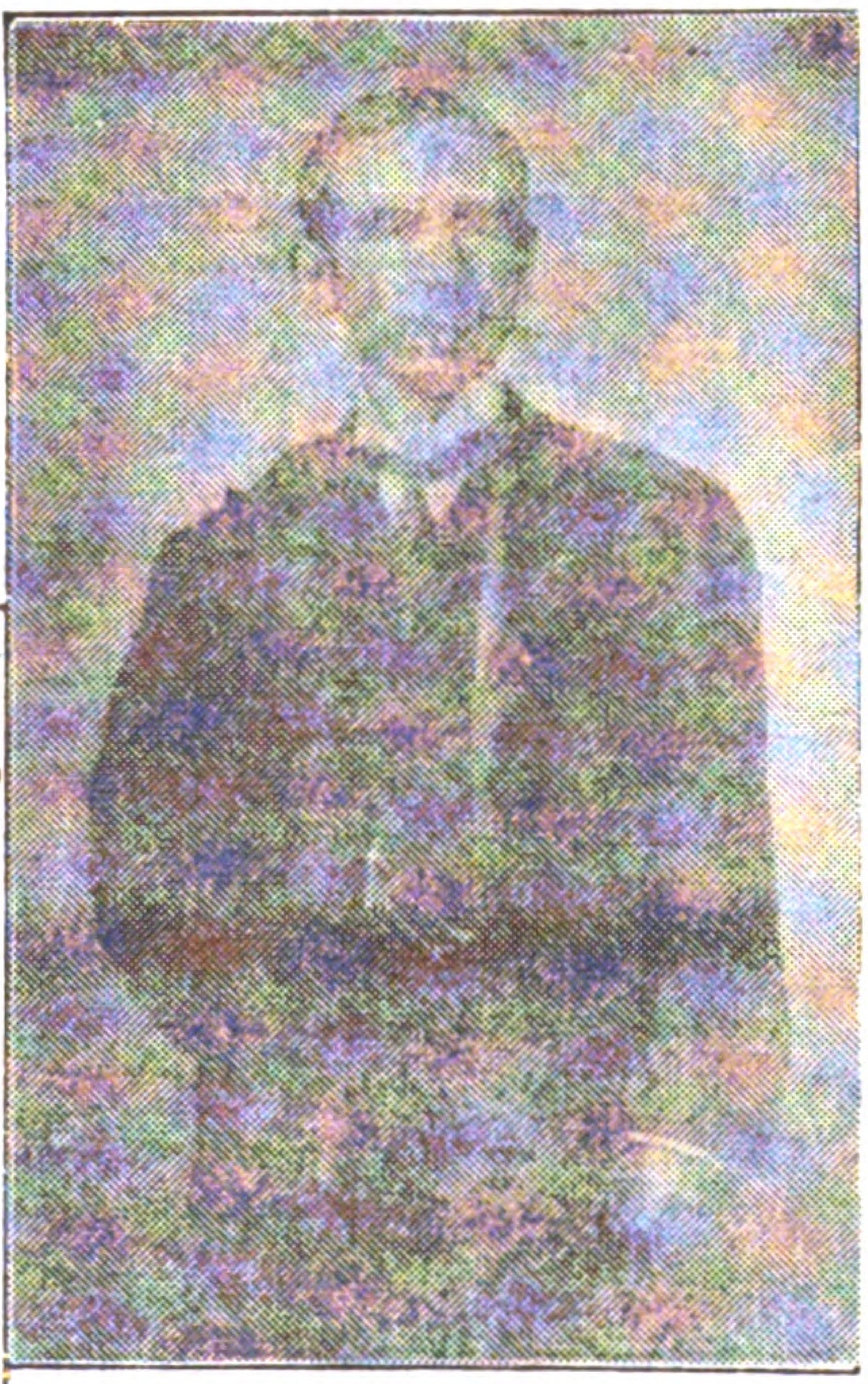
成瀨氏が一年の師範在學中に、最も強く感じた事は、教育の改善と云ふことでありました。而してその改善は私立學校に於て試みられなければならないとの確信を抱いて、明治十一年大阪に梅花女學校を開き、校長たる事四年、後明治十八年新潟女學校を起して六年間經營の任に當り、最後に明治卅四年日本女子大學校を創立して、今日に及ばれたのであります。昨年九月肝臟の異狀を自ら認めつゝも、恰かも臨時教育調査會委員として、女子高等教育に就いて討議し、多くの保守論と鬪ひつゝありし折柄、醫師に診斷を乞へば萬一中止させらるゝ恐れもあらんとて、終に病ひを秘して奮鬪せられたのでありました。死を賭して主義の爲めに鬪はれた其の精神の裏には、實に世の宿弊が築く人間の束縛を毀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ち、能力の自由發揮を促さんとする深い愛心が漲つて居らなければ出來ない事でありましたでせう。この精神は女子をてし奴隷の生活より救つて、一個の國民として、人類として世に起たしめんとの努力となり、また着々社會の輿論を揭げ、女子自身を起たしめて、その功を擧げ得たのであります。この恩惠を感謝する私共は、日本女子大學が決して唯一の形見ではなく、その精神を哺む處即ち先生の紀念の場所であることを覺えなければなりませぬ。

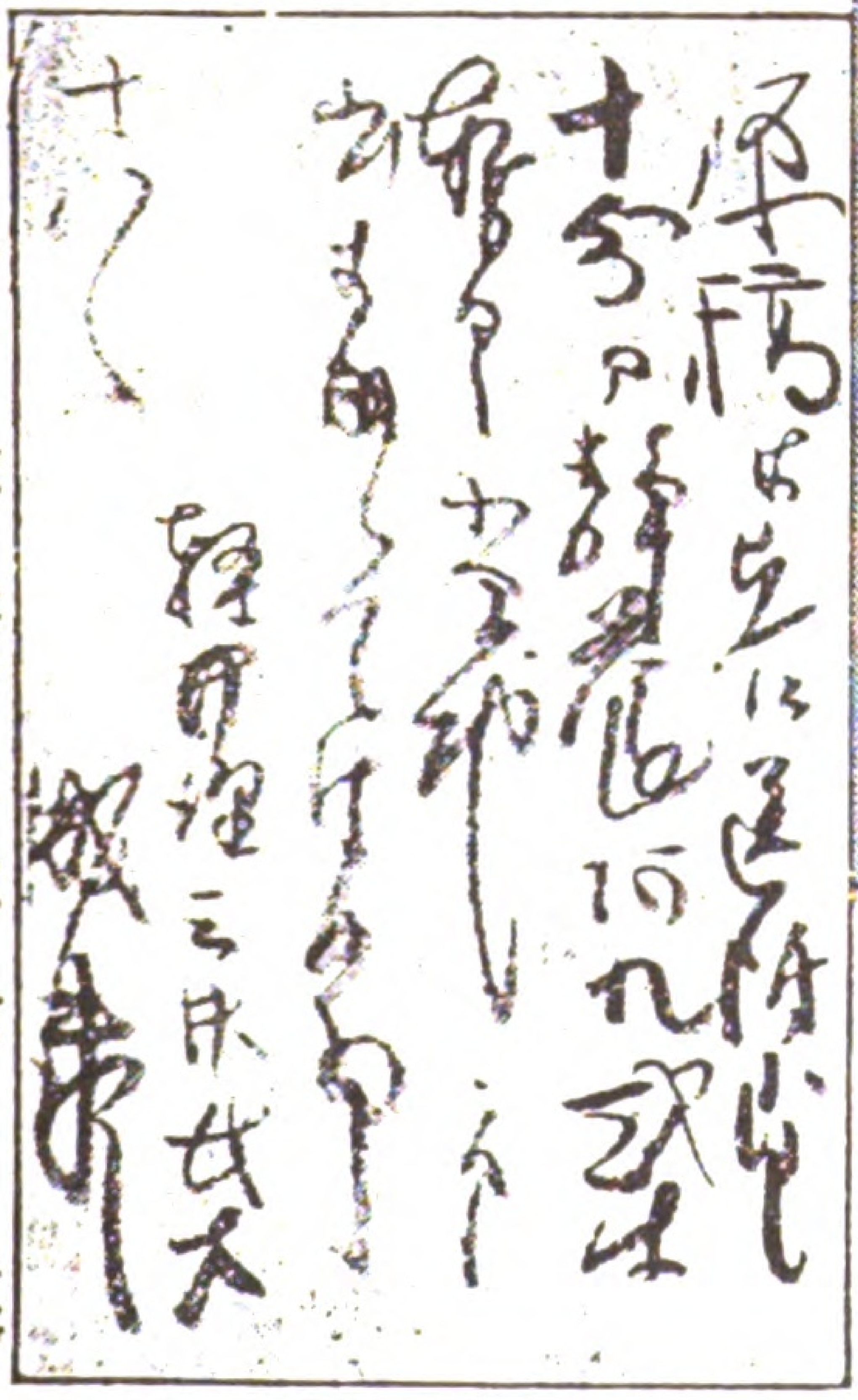
＊＊

先生はまた敎育は、神と人との交通、即ち宗敎に迄及ばなければならぬとの持論を抱かれて居りました。而して自らは儒、佛、耶、神道を綜合したる一つの精神即ち宇宙の靈に合致する事を以て生命として居られました。人間の敎養が單に智育、德育、體育の片々たる事に止らずして、人間の生命の根底を爲す精神の萌芽を培養することの必要を大膽に鼓吹されたことは精神敎育に冷淡なる我が敎育界にとつて、最も急所を突かれたものであると存じます。然し儒、佛、耶、神道を歸一したる宇宙の靈と人間との交通を以て宗敎とする先生の意見には、幸か不幸か私は從ふことが出來ませんでした。只私が眞實に膝づく唯一の神、その導きに歩まんとる事毎の祈りは、先生が畢生の努力を注いで叫ばれたる精神の萌芽を培養するに決して叛かぬ事を信じて居る者でございます。而して私共の盲目を開き、自己を眞實に凝視つゝ向上の道を闢ることが出來る程の敎養の道を與へて下すつた先生に對する感謝と敬意とは決して人後に落ちないと思ふのでございます。



成瀨仁藏氏

とその筆蹟



ハギキ文面

原稿は直に送附致候
十分御靜養あれ或は
暫らく當地に御出に
相成候ては如何
輕井澤三井氏方
十八日　成　瀨

＊＊

今年に入りて曩きに廣岡刀自を失ひ、未だ二ヶ月ならずして成瀨先生の永別に遇ふ私共の心中は餘りの强い刺戟をどうして紛らさうとさへ思はるゝのであります。しかも靜かにその痛みの底より私共の耳に響く聲は、「起ちて勇ましく鬪へ」と云ふにあります。誠に手引きする先覺恩師を奪ふた天は、私共が自ら起つて、荊棘を啓かれたる地の上に、新らしき世界を築かんことを待たれつゝあるかの如く見えます。我れ等の神と凡ての善き靈は、眞實なる働らき人と共に、永遠に働らくことを信じます。(三四子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成瀬校長吊問の記

まだ春にめざめぬ丁字の木々を越へて、印象に深いだら〳〵道を無言に下り行く若い人の群は一樣に暗い顏をして居た。行く手に立つて居る古びたみすぼらしい門――それが成瀬日本女子大學校長のお宅である。うなだれて入り來る敎へ子等はもう家中一杯に滿ちて居た。彼等は皆此の思ひ掛けない悲しみに打たれて茫然として居た。校長の死――それは當然來るべき運命であつた。けれども其運命に逢着しない前に、校長の志望たる綜合大學の基礎を据えやうと、それ許りをあせつて居た。運命は其の日を待たずにもう校長はつめたい人に成つてしまつた。――大正八年三月四日――六十二歲を一期に日本女子敎育界の巨星成瀬校長は逝つた。まだ公然の發表に成らない其の日、遠く近く聽き及んだ卒業生等は、陸續として馳せつけた。女子大學の校長の住居としては餘りに粗末な家の階段を昇ると、左手は校長が遺愛の書籍のぎつしり詰まつた書齋である。左手の居室、そこには數人の門弟等に守られて、校長の遺骸は小さく冷たく橫はつて居た。井上女史の手に依つて白布はもたげられた。小さく瘠せたれども生けるが如き校長の俤は、目前に眠つて居た。入り來る人々は咽び泣いた、――正しく着けられた紋服を見て――折目正しき袴の樣子を拜しつ、――白革の手袋を右手に握れるも、――さては日頃振り廻しては運動に用ゐられし遺愛のサーベルが枕邊に淋しく光つて居たのを見て、一齊に子等は泣いた。

先生をきのふ午後見舞られた主治醫二木博士は、かねての賴みに從つて、死期のはや今明日に迫れるを告げた。先生は、麻生、提兩氏を初め、校內の敎職員櫻楓會員を枕頭に呼んで、死の迫れるを改めて告げ、一々握手して別れを告げた。そして人々に云はれるには、「私は民主的精神であるから、私の死後も誰れ彼れの區別なく、遇ひ度いと云ふ人は、皆此處に呼んで遇はして下さい。これが私の遺言です」と云つて、すや〳〵と眠られたが、午前三時頃、はつきりした聲で「大分夜も更けたでせう、皆さん歸つてお寢みになつて下さい」と云はれて、また嗜眠狀態に入られ、やがて「ウーン、ウーン」と演說でもするかの如く聲をあげられたと思ふとその儘につこりと笑んで絕命された。時恰も午前八時二十分であつたといふ「先生の死によつて、永遠の生命を目の邊り見ました」と平野女史は輝かしい勝利の臨終を語られるのであつた。敎へ子等が捧げた香の高い蘭は、恩師の淸く尊く眠れる邊りに靜かに薰りを漂して居るのであつた。――(三月四日記)

成瀬校長の略歴

▽安政六年六月廿三日周防國吉敷郡山口藩士成瀬小左衞門長男として生る。

▽六歲の時母を失ひ、十二歲にして只一人の弟を失ひ、十四歲にて父に別る。一人の姉は鈴木氏に嫁し今尙ほ大阪に在住。

▽幼にして漢學を名井守介に學ぶ、友人等の西洋算を學ぶを見て、羨ましさに堪へざりしも家貧にして師に就くことを得ず、吉敷川畔の砂にて加減乘除を獨學す。

▽明治八年山口縣の師範學校に入學し、翌年卒業。直ちに室律郡の巡回訓導に任ぜられ二島小學校長を兼ぬ。時に年十六歲。

▽官學の弊を知り、敎育の改善を圖らんが爲め私立學校設立を思ひ、同時に政治方面よりも改革の氣運を誘はんとし、翌年職を抛つて神戶大阪地方に出づ。

▽此處にてキリスト敎の信仰に入り、外人との交際により英語を學ぶ。

▽明治十一年に大阪に梅花女學校を設立し、十四年迄同校校長たり。

▽其の後キリスト敎の牧師となり、大和の郡山地方に傳道す。

▽明治十八年新潟女學校を起して校長となり、廿三年迄止り、傍ら男子の敎育にも携はる。此地に於て服部氏の女と結婚

△明治廿三年の暮に女子敎育研究の爲め、亞米利加に渡航し、マサチユーセツのアンドヴアー神學校にて敎育學社會學を研究、更らに同州のクラーク大學の敎育學部研究科にて特に女子敎育を專攻す。後各州を巡りて大學敎育を視察し、明治廿七年の春歸朝。

▽明治廿七年四月より廿九年四月迄、再び梅花女學校長となる。此の間に「女子敎育」といふ著書を出版して、女子高等敎育意見を發表す。

△廿九年後は專ら女子大學設立の爲めに奔走し、卅四年四月日本女子大學の開校を見る。

▽大正元年より二年にかけ歐米を漫遊して女子敎育の現狀を視察す。

▽歸朝後直ちに敎育調査會委員を仰付けらる。

▽大正四年十一月敎育界の功勞により勳五等に敍せらる、

▽同六年臨時敎育會委員を仰せ付けらる。

▽大正八年三月四日從九位に敍せらる。同日午前八時二十分永眠。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一切か無か（上）

イブセン作「ブランド」に現はされたる思想

有島武郎

□イブセンの悶え

地中海附近を中心として起つた文明が、南進し北漸するに當つて、雪深き瑞典諾威にも靡爛せる南國の文華が浸潤して、人心漸く弛緩し、妥協と中庸とが風をなすに至つた。ヘンリック・イブセンは故國の微温るき人心に慊らずして、悶々の情を抱いて、千八百六十四年四月、南を指して旅立つた。獨逸を經て、風薫る伊太利に入り、更に羅馬の古藝術を探ねて、神來の感興に接した。かねて胚胎して居た詩劇は、かゝる間に醱酵して、翌六十五年の夏から秋にかけて、「ブランド」の一篇となつて現はれた。彼れがこの一篇を草する時、彼れの机上には、瓶に入れた蠍の一匹が置かれてあつた。尾に毒汁を破裂せん計りに湛へた蠍が七轉八倒する樣を見て敏捷く林檎の一片を投げ入れ、蠍がこれに狂ふが如く尾を突き刺すのを見遣りながら筆執つたのによつても、止むに止まれぬ悶えを筆に遣つたイブセンの當時の心裡を窺ふ事が出來るのである。

□新世紀を劃する傑作

「ブランド」の一篇は、韻文より成る一大詩劇であつて、其の力に充ちた美はしい作の一と度世に出づるや、彼れは單に母國のみならず、一躍して當代歐洲の最大詩人として謳歌せらるゝに至つた。かゝる意味で「ブランド」の作はイブセンの文學的聲價に一新時代を劃するものであつた。全篇五幕より成り、歐洲では屢々芝居の續き物として二日に亘つて興行することなどもある。其の梗概は次のやうなものである。

□作の主人公と生ひ立ち

スカンヂナビヤの海濱、絶壁と絶壁とが抱く峽灣に沿ふて、フヨードといふ村があつた。僅かに夏の一時、彼方の山の端に跳る日光を見る外、年中薄暗がりの中に氷と雪とに閉されて居る世界であつた。此處に赤塗の百姓家があつて、夫婦と子供とが住んで居つた。その子供こそはブランドと呼ぶのであつた。朴直の父は勤勉な生活を續けて貪欲であつたらしい母には内密で、小金を蓄めて居つた。父はブランドがまた幼い頃の或る秋、此の世を去つた。父の死體の横はる室に、父が死んだとも知らずに遊んで居たブランドは、一つの不思議な光景を見た忍び足に一人の女が入つて來て、痩せた手に聖書を握つて、燈燭の火に青白く照らされながら冷たく眠つて居る父の寢床を彼方此方と探し始めた。そして一つの包を引き出し、勘定しながら「もつとある」と、獨語いた。更らに枕の下から、堅く縛つた一包みを出して、封を嚙み切り勘定して「もつとある」と獨語いた。そして隅々迄探がして、寶といふ寶を浚ひ取つて「これですつかりだ」と云て肩掛に獲物を包んで出て行つた。これは餘の女ではなく、ブランドの母であつた。ブランドはこの醜い母の記憶を生涯葬ることが出來なかつた。

□救靈の旅と第一の道連

ブランドの母は一人の遺見を此の日影もさゝぬ地に埋もれさせて終うよりは、牧師にでも仕立させたいと早くより旅に出した。そして第一幕に於てはブランドが既に牧師となり、或る高原を西の方に進んで行く光景から始まる。ブランドの旅は主

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の大なる使命を負ふて、巡廻教師のやうになつて、旅から旅に渡り、眠つて居る人々の靈を目醒ましに行くのであつた。黒衣を纏ひ、杖を持ち、背嚢を負ふて喘ぎながら進んで行く後とに百姓の父子が道連として、從つて行く。濃霧を分けて行く足許に、瀧の落ちて居る響が聞える。これは雪の橋と云つて、表面の雪丈け氷り、下は解けて空洞を爲し、滔々として流れを爲して居る所であつた。一と度足を踏み込めば、忽ち奈落の底に吸ひ込まれる恐れを抱いて、百姓父子は西方峡灣の村に死に瀕して居る娘に一と目遇はうとの急ぎの旅をも忘れてわが家の事、家に遺した妻子の事を思ひ煩つて、逡巡し始めた。そして牧師にも頻りに後戻りを勸めたが、神の使命の爲めには、死も喜んでこれを迎へると堅く執つて動かぬブランドは、百姓父子の止めるをも振り切つて、獨り西に進んで行つた。

□第二に出遇ふた人

暫らくすると歌ひ狂ふ男女の聲が聞える。霧は晴れて、高山の花の咲き亂れた間から、胡蝶のやうな美しい少女が、若い畫家と甘い戀の歡樂に醉ひながら現はれた。畫家はエイナーと呼び、少女はアグネスといふのであつた。暫らく話して居る中にエイナーはブランドの幼な友達であつたと知つた。ブランドはエイナーに「君が嘗て神を描いたその畫が正直な人々を感動させたといふ事を聞いて居る、その神は老人だつたといふではないか。眞白な髮が傳い頭に亂れかゝて、氷か銀の糸のやうな髯が生えた優しくはあるが、夜中に小兒を嚇す位な酷さは持つて居るのだらう」と云ふとエイナーは怒氣を帶んだが、ブランドはそれにも構はず「カトリック宗派の者が人類の救主をマリヤの胸に抱かれて居る赤兒に擬へて終つたやうに・君は神を老耄れて夢を見て居るやうに描いて了つた。私の神はそんな神ではない。君の神が微風なら私の神は嵐だ、君の神が冷淡なら私の神は仇敵のやうだ。君の神が微温い處を私の神は全力で愛する」と云つてその鈍れた靈に鐵槌を與へる。別れやうとすると、純粋な少女の胸には却つてブランドの精神を直覺したものかエイナーに「貴方、お氣が附きましたか？」、と。エイナーは「何を？」と問ひ返へす。アグネスは低い聲で「あの人が話して居らつしやる中に、いかにも偉大な方に見えましたのを？」と。

□第三に出遇ふた人

同じ峡灣に行く道をアグネスとエイナーは西にとり、ブランドは北にとつて進んだ、荒涼たる深い谷に沿ふた阪道に現はれその道を下りかけ、とある突出した岩角に立つて谷底を見下ろすと、其處から、眞下に彼れの生ひ立つたなつかしい故郷が見える。暫らく思ひ出に耽りながら、故郷の人の眠つた靈魂、懶けた心を憤つて居る。すると上から石を投げる者がある。よく見ると一少女が、凄ましい勢ひで飛翔する鷂を目がけて、石を投げ付けるのであつた。少女はゲルトを呼ぶ浮浪の子であつた。ブランドはゲルトの惡戯を戒めて、「お前は一體何方へ行くのか」と尋ねると、「教會堂に行く」と云ふ。それなら一緒に行かうと云ふと、下に見える會堂を指しながら輕蔑したやうに笑つて、「あれは汚なくて、小ぼけだからいやだ、私の行くのは山の上の氷と雪で出來た教會だ」と、いふ。ブランドは斷岩絶壁の間に地獄のやうな洞穴の口が開いて居る處が、氷の教會と呼ばれて居ると知つて、そんな危險な場所に行くのぢやあないと云つたが、ゲルトは一向平氣で、其處には雪崩が神々しい歌を唱つてゐる、氷の山から吹く風が說敎をしてゐる、其處には恐ろしい鷂も來ないと云つて居る間に、また翼を鳴らして遣つて來

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た鵲に石を投げつけながら山上目懸けて飛んで行く。ブランドは、百姓父子の意氣地なき靈、即ち薄弱な心情、エイナーとアグネスのやうな歡樂に醉ふて、目の眩む崖端をも戯れ遊んで行く者、即ち輕佻な心情、グルトのやうな野育ちの儘で、道も掟も無視する者、即ち粗野な心情、皆んなこれ等と自分は闘はなければならないのだ、これ等の惡魔が亡んでこそ、この世界は再び健康を回復するのだと、我が使命を更にはつきりと自覺し、その靈魂に鞭打ちつゝ、村の方へ下りて行くので、幕になる。イブセンは先づブランドに出遇はせた三組の人を以て、種々の人情世相を暗示したのであつた。（つゞく）—文責は記者の負ふ所です

六

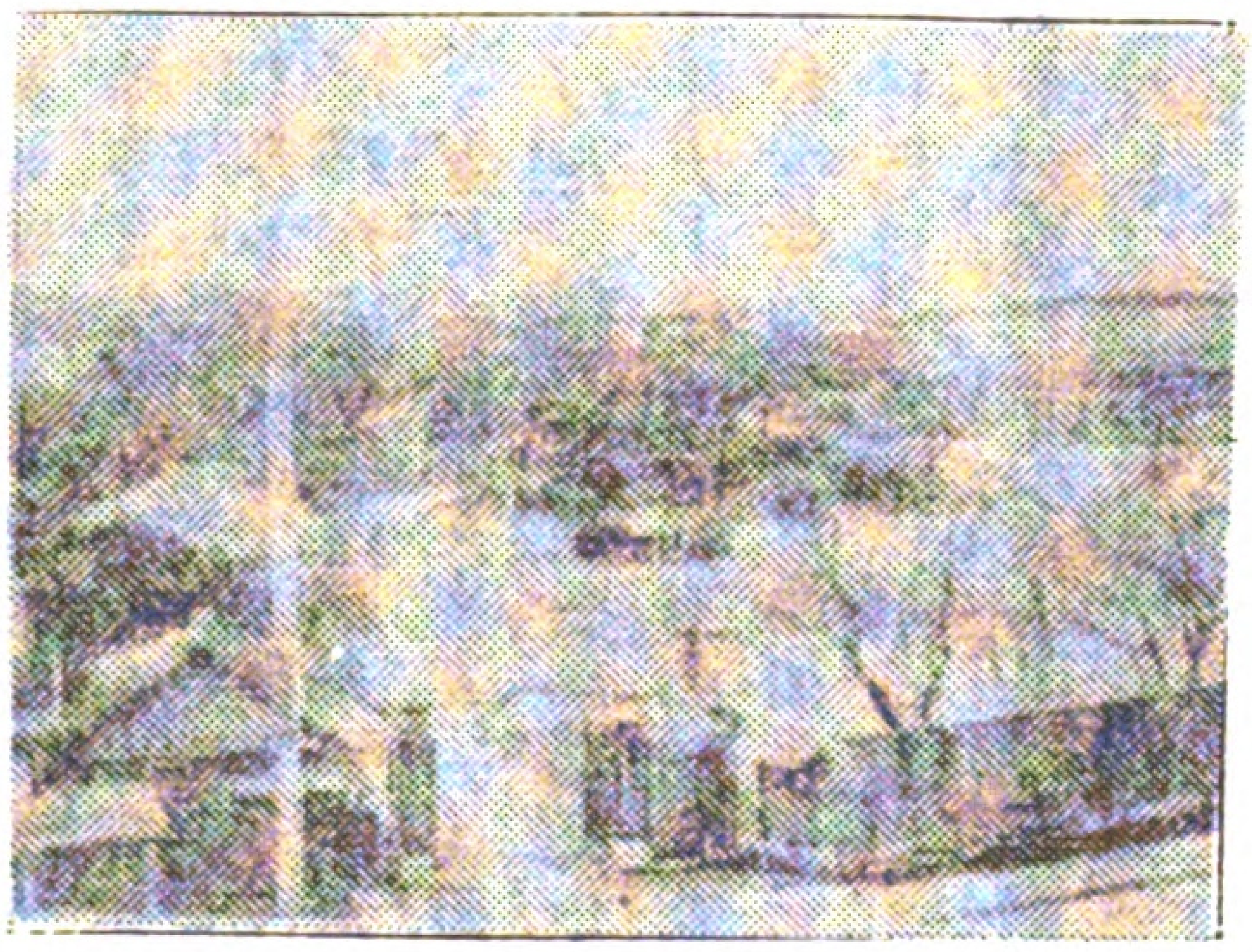
新らしい學校 新らしい校長

（四）

新らたに女子部を設けんとする東洋大學

▲『女子部を設けるなんて……イヤまだしつかりした事は判らないんです、どうして御存じなんです……』と驚いた語調で云つた。『全く狹いので、なるべく新聞などへ書かれない樣に注意をして居たのです。それに今迄固い頑固な學校の名を取つて居た本校が、男と女を一緒にして講義をするのも一寸異樣ですからね……』東洋大學の一教授はかう云つて口をつぐんだ。どうしても時勢の要求から、婦人に高等なる學問智識の必要は、火を見るよりも瞭らかに分つて居る。

▲時は大正の五年であつた、佛教の講義—主として眞宗、禪宗、日蓮宗、天臺宗など各宗派の夜間講座が開かれた。此時男生の中に數人の婦人が混つて居た。禪堂などへ行つて造詣の深い竹越三叉氏夫人、藤岡帝大教授夫人、島地大等氏令妹、小學教師の小島女史が聽講した。其夜間教授は一年間續いた。そしてなほ女性の研究者は後を絶たないで、現在は五人の生徒が混つて居る。其多くは國漢文、人文科などで、三年生在學中の婦人は山形縣の高女出身で、實に三年間一時間の缺席も無く頭腦明晰驚くものがある。二年生は實踐女學校出身、一年生は三人在學で女子商業の出身者もあるが、何れも頭腦は確かに好いと聞く。



東洋大學鳥瞰圖

▲『こんなわけですから女子部を設けてはという說が大分あるのですが、何うしても此校舍が狹いので困つて居ります。此四月から設けるつもりでしたが大學令に依つて、どうも九月頃になりはせぬかという話です。只今の樣に男子と一緒ですと、何か質問された時に、女に負ては恥だ、女の前で恥はかきたくないという事から、だいぶ勉強家の男が出て來ますし、女の方でも同じ氣持ですから、案外進みますのです。』

▲『おそかれ早かれ男女が共に學ぶ時代は來るのです。そこまで行かなきやほんとぢやありませんね。却々婦人の志望者は多いのです。中には夜新聞を賣つて居る筒袖を着た婦人などが申込んで來ます。彼の早世した河村明子などいふ少女も、某教授の紹介で來て居たのです……始まりはほんとに内々の教授夫人とか又其紹介者などの間にのみ止つて居たのですが……それがこんなになるのですからね……』僅か二三年の過去をふりかへつて見て、語る人は吾ながら世の趨勢に驚ろいた。校門へ出る道すがら、男生の中を闊歩して來る婦人に出逢つた。彼女は下うつむいて一心に何をか辿つて居るらしい。こわきに抱へた本の包みが重さうであつた。

腦神經 精神病
院長ドクトルメヂチーチ 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
外醫學士二名
東京赤坂青山南町
青山腦病院
電話芝 二二五〇 二二五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話しにもない
貧に陷つた家族
勞働を厭ふた末路

＊＊

大塚の坂下町二〇二番と云へば皆立派とは云へませんが可なりに暮して居る人許りです。此處に一軒、家の戸をかたく閉して、全く外との交際を絶つて居る不思議な家があります。

附近の人の報によつて、取り敢へず音づれますと、表戸はかたく閉して、決して人の入る事を免しません。止むなく裏にまはつて、高い椽端をよぢ登つて中に入ると、まあ一目見た私はびつくりして、思はず聲を立てやうとしました。八疊と六疊のかなり廣い家の中はシンとして、何處に人の影も見えません。障子といつては、一枚もなく、奥に入らうとして、僅かに一二枚殘つた疊をふめば、思はずグザと足がぬかつてしまひました。

＊＊

床板も何も無い、空屋同然な、この奥の六疊の部屋に一間の押入があります。押入れと云つても襖もなく、只ガランとした中に、棚が一つあつて、見ればその棚の下に親子四人の者が、石油鑵の樣なものに焚き火をしながら、キヨト〳〵として、うづくまつて居るのでした。身には殆んどつける物も無くて、五十位ゐの老母が僅かに肩から腰のあたりまで、布の樣なものを皆何一つとして衣服らしいものをつけて居ないので、扨こそ、呼べど叫べど、出て來ない筈、出る事も否立つ事さへ出來ないのです。家の中の天井板、床板、凡てはづしては焚き火して、疊の裏の藁までも、燃して居るのが、やつとまだ跡一二枚、殘つて居たのであつた。櫛一枚も持たねば、髪は亂れて糸のもつれの樣、それも賣れるだけのものは賣り盡してしかも親子の髪の毛まで根元から切つて、十錢でむりに買つて貰つたとの事。こんな風で外に出る事もならず、只此の冬の間を、親子四人で冬籠りをして暮す積りであつたとは、まあ話にも聞いた事のない、ひどい情態である。

＊＊

聞いて見ると、四年前に去る高官に居た主人が亡くなつてから、餘程持つて居た持物で、女中の二三人も使つて、只居坐りに坐りこんで食べて來たので、此處にうつり住むだ初めは金時計に金鎖りなどつけて近處をまはつたものだと云ひます。かたく秘して、身分や姓名は語りませんが、餘程に地位も高く、隨分贅澤な暮しもして居た樣子、子供等も女中任せで云ふがまゝに、それお菓子、それ玩具と、我が儘一杯に暮させて來たくせがついて、遂にこんなになつてからも夫人は人任せにして居た食事の事など手を出すのも好まぬらしく、金のある間は、それしる粉・それそばよと只料理を取つたり、いろ〳〵と取つて食べて居たものらしく、茶碗一つ、箸一本無いのです。

＊＊

かつては夫の死後人の勸めで、小學教員もして見たものゝ、跡を追ふ子供を殘して行くのが辛さに、それも止めてしまつたと話されます。實際教育もあり、常識もある人間が之程までに落ちぶれて、之程までの生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

活がよくも平氣で出來たものだと、呆れざるを得ませんでした。只うなづかれるのは金錢に不自由なく育つた人で、我がまゝ一杯に暮して來た者は、日常の凡てが人任せで、右の物を左にもしなかつた、その報いは當然、こんな場合に遭遇しては如何身の處置を取つていゝか、途方に暮れるといふものか、それともまだ近處の人や出入りの者にも頭をさげるのがいやだと云つた風な、後先きを見得ない考へからこんなみじめな有樣に迄陷つたのではないかなどといろんな想像をして見るのでした。

＊＊＊

何にしても、心の用意の無い人は、いつでもこんな目にあふものだと、しみ〴〵思はせられました。自ら立つて勞働する事が、自ら立つてかせぐ事が、決して恥かしい事ではありません。心の用意の乏しい爲めに、俄かに起つた不意の出來事に對して、あわてふためき、心身を取り亂して、漸く不遇が重なると、果ては身體を動かす氣力もなくなり、見る〳〵零落して行くので、こんな慘めな生活も、私共から決して遠いのではないと、生れながらの貧者の身の上でない丈けに、考へさせらることも多うございました。

讀者から

「近く來朝するルート夫人」をよみて

大阪 すゞらん

廿八日（金曜）發行の御誌は、先程參りました。毎號有益な美はしい記事に滿ちた御誌は、他のいろ〳〵の雜誌よりも一入樂しくよみ、又共鳴する處も多く、未だ世間をあまり知らぬ私には誠によき師友でございます。いよ〳〵御發展なされて、私達を御導き下さるやう願ひます。私は未だ若く、父母の許にある者でございますが、矯風とか、禁酒問題とかには最も心をひかれるものでして、何も出來ぬ乍ら、我が國も早く公私娼廢止、禁酒制度になりますやう祈つて居ます。それで米國が今や禁酒國となる事が、本當に羨ましく思つて居りましたが、今度は世界中が禁酒するやうわざ〳〵ルート夫人御來朝の由承り、眞に嬉しく存じ感謝致して居ます。只今は内地米が足りなくて外米の輸入を多くされるとかいふ事ですが、そんな事を致さないでも酒造につかはれる、白米を減すれば、結構十分な事と存ぜられます。あまりにおこがましくございませうが、本當に馬鹿らしい事だと存じます。お互ひに大きくは人道の爲め、小さくは我が日本國の經濟の爲めにも、寸時も早く飲酒の弊が改められ、酒造が止められるやう、又ルート夫人や矯風會員の事業が、少しも早くその效を進め、正義の勝利の日を永久に喜び一日も早く來ますやう祈りたいと存じます。（三月三日夕）

◉生徒募集　私立女子學院

一年級　七十名
各級補欠　若干名
出願期日　三月末日迄
入學試驗　四月七日午前九時

但シ前學校ノ積成ニヨリテ入學試驗ヲ要セズ
寄宿舍ハ内外ノ教師同居シテ懇切ニ指導ス

麹町區上二番町　女子學院

シンガー裁縫院

▲生徒募集　●（ミシン專修）（毎月五日迄入學）●

●和洋服刺繍　（東京有樂町一ノ五）

廣岡淺子刀自著

一週一信

「七十になる迄」の自叙傳外四十九篇の熱烈なる叫びを收む

三六版二百五十頁　定價金七十錢　郵稅四錢

發行所　東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社　振替三一六六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一疊敷きの書齋

中流の讀書子にとっての福音

斬雲

□南葵文庫に保存

一疊敷きの書齋と聞いては、余り奇拔過ぎて、馬鹿々々しいと考へられますが、實際立派な一疊敷の書齋が有つて、麻布飯倉の南葵文庫庭内に保存されて居ます。當節、都會人の住宅が狹隘となり、各戸の庭園も狹くなつたから、廊下傳ひの離室式の書齋などは造れなくなるでせう。且又眞に書齋の意味から言ふと、六疊四疊半も贅澤過ぎる事で、西洋式の天井裏で澤山なのだが、日本家屋では天井裏が低くゝて坐つて居る事も出來ず、ほんの物置位に改造されるのが精々です。そこで一疊式の書齋といふ題目は、中流生活の讀書子に取つての福音だらうと思ひます。

□膝を容るゝの心安さ

私の郷里は「一間所」と言つて、一間四方即ち二疊の室をば自宅内の「發狂者收容所」又は「座敷牢」もどきに考へ、甚だ忌むべき事として居ます。併し東京の住宅には二疊の室が普通です。一歩進んで一疊敷きの室を造る事も忌むべき理由がない事と思ひます。但し、獨立した離室式の一疊間では、物にならなからうと思ひます。南葵文庫庭園内の一疊敷きは普通六疊の座敷から直ぐ接續して増築されたもので、隣室との境は唐紙になり、南と西に窓があり東には床の間と違ひ棚があります。そして疊は一疊ながら流石に考へたもので、額緣の樣に四方に五寸幅の板の間が附いて居ます。南方にも出張つた書棚が設けられ、其中へ机を直して坐つて見た處で大して狹苦しくもないのです。膝を容るゝの安んじ易きを樂むといふ意味から言へば、居ながらにして室内の書籍其他の物に自由に手が届いて結構です。若し詳しく内部の構造を知らんとせば、南葵文庫當事者に賴んで一覽するも宜し、又、此の一疊敷書齋の立案者、松浦武四郎氏の書き殘した「木片勸進」といふ小冊子を見るもよく、これには、此書齋の圖面も詳しく出て居ます。

□「木片勸進」

此の一疊敷書齋が珍藏すべき價値ある所以は、其の工夫が巧みであるばかりでなく、其の建築用材が全國から集めた木片から成り、各特異の因緣物記念物である點に存するのです。松浦武四郎といふ人は伊勢の生れで、紀州藩士たり、近藤重藏に次いでの蝦夷地探檢者であり、又、日本全國を遍歷踏破した奇傑で、意匠に富み、多藝多能、實に器用な人であつたのです。そして奇行百出、奇想天外より來ると言つた面白い人であつたのです。此の一疊敷の書齋を造つた由來は斯うです。松浦は最早や七十の老齡に達し、冬は寒いから、暖かい日當りの好い室が欲しい、併し邸內狹いから一疊敷といふ奇拔な案を立てました。そこで全國の知人に書を寄せて今度一疊敷の書齋を造るから何か珍らしい木片を寄贈して呉れと所謂木片の勸進を行つたのです。そこで百餘種の木片が贈られて來た。其中には、宮島の鳥居の古木、之は清盛が寄進した鳥居だと言ひます。又嵐山渡月橋の橋げた、四天王寺の門の燒殘りなどいふ極めて珍とすべきものが多いのです。床柱には橋の欄干に附いて居る擬寶珠を二尺ばかりの長さで倒さに使用した趣などは掬すべき趣味であります。

□具足櫃てお葬式

松浦は此の友人等から集めた木片の書齋に日向ぼこりして、其の友人等の面影を偲び靜かに冥想三昧に耽つたものでせう。そして其遺言には「私が死んだら此の一疊敷の書齋を取毀はして此の木片で私を火葬にして呉れ」といふのであつたそうですが、斯くも意匠巧みに出來た書齋、且は斯くも來歷附きの木片を多く集めた古雅な建築は惜しくて燒けるのでありません。今日では南葵文庫附屬物として保存されるのです。松浦の奇行に富んだ事は日本にも類のないもので、葬式には棺桶を具足櫃に入れて舁がせ、其上には日頃着用のござを被ぶせて葬列を練り歩かせたと言ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春の會席

大妻技藝學校講師　久野連峯

献立

向　たいら貝二杯酢、千わらび
汁　根いも、つまみな
碗盛　吉野魚、職部ごうふ、三つ葉
焼物　相並のてり焼
香の物　澤庵漬
吸物　わらび短册うど
八寸　割桃、土筆の甘煮
（飯、湯の子）
蒸菓子、乾菓子、御濃茶

□向　たら貝の腸を去り、よく洗ひ、端ばかりにして小口から薄く切つて鹽をばらりとふり、酢につけておきます。凡そ十分間の後出して器に盛り、酢と砂糖との二杯酢をかけます。一方にわらびを洗ひ、皮を去り、細く線に切つて上におきます。

□汁　だし汁にて味噌をとき、沸騰させ、その中へ根いもとつまみ菜とを細かに切つて入れます。總べて味噌類のものには、砂糖を少し入れますと、味がよくなります。

□碗盛　鯛の身を一寸角位に切り鹽を少々ふり、吉野葛にてまろめ、庖丁の柄で打ち附けます。一方に湯の煮え立つた中へ入れて茹で、籠に上げておきます。

職部ごうふとは豆腐を細長く二分位の厚さに切り、玉子焼かフライ鍋でよろしいから、胡麻の油を敷いて、兩面とも焼いて冷水に入れます。冷めましたら、籠に入れて水氣を切つておきます。

三つ葉はざつと茹で、冷水にうつし、根を揃へて絞り上げ、一寸三分の長さに切つておきます。一方にだし汁の粕を去り、煮え立つた中へは味の素少々醬油、鹽で味を付け、器へ前の三種を入れて、それにお汁を入れて供します。

□焼物　相並の鱗及び頭を取り三枚におろし、骨を去り、金串に差してとろ火にて焼きます。焼き上つたらてり汁をかけてあぶり、又てり汁をかけて臺に上げ、二本共金串をよく回はしてからぬきます。

注意　魚は皮の方から焼き初め、返して身の方を焼きます。なぜならば皮の方が焼き縮みが早いからです。なほてり焼きの方は身を上にして器に盛り、鹽焼の方は皮を上にした方が體裁がよろしうございます。

□吸物　前の碗盛りのやうに鰹節汁を拵らへておきます。一方に炭酸少々入れて湯の煮え立つた中へわらびを入れて茹で、直ぐに冷水に取りますと、灰汁が取れて軟かくなり、色もよく上ります。別にうどの皮をむき短册に切つて水に入れておきます。鰹節汁を煮立たせ、味の素を少々加へ醬油及び食鹽にて味をつけ、わらび、短册うどを入れて器に盛つて供します。

□八寸　割桃とは前年に拵らへた罐詰を用ひて、桃を縱に二つに割つて種子を出して置き、一方に水五合に砂糖一斤を入れて煮立たせ、冷まして置き、その中へ割桃を漬けておきます。

土筆の袴を去り、長いのは二つに切り、よく水に洗つて水氣を取り、焙烙にて濕氣を抜くため軟かくなる迄炒ります。直ちに一方に味淋、醬油、砂糖で味をつけます。

お化粧問答

問　外出しませんのに、始終顔が赤いのですが直るものでせうか。よい方法がございましたらお敎へ下さい。（群馬　靜子）

答　顔の赤いのは健康で赤いのと病氣で赤くなるのと二つありますが、健康で赤いのなら御心配もありませんが、病氣でしたら其の原因を究めて夫から療法にかゝらないと、顔へ色々のものを塗つても直るものではありません。先づ平素胃腸をよく整へ便通をよくし、常に御入浴の際なぞは、腰から下を湯に漬けて、腰から上を冷水で拭くやうにしますれば血液の循環をよくし、お顔の欝血も除く事が出來ます。斯様に御婦人は絶えず御家庭で美顔術をなさいますと、餘程工合よくお顔の色艶が美しくなります。其の方法は極めて簡單でクラブマッセークリームをマッセー溶液で溶いてお用ひになればよろしいのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アリスの冒險（十七）

悠子

ある若者がいひました。
「お年をとつたウイリアムさん、あなたの頭は眞白だ
それでも時々
でんぐり返しをうちなさる
そんなことして
いゝんですか」
お爺さんのウイリアムが答へるには
「それでも若い時には
頭を痛めるかとも思つたけれど
今では何でもありはしない、
この通り
何度やつても
平氣です」
「お年をとつたその上に
あなたは大層
ふとつていらつしやる。
それでもさつきあのやうに
でんぐり返しをなすつたが
どうしてそんなに出來るのか
どうぞお話して下さい」
白い頭をふりながら
お爺さんのウイリアムがいふのには
「私は若い時分から
藥を塗つて
手や足を
いつもしなやかにして置いた」

「年をとつたら
顎までが
さぞかし弱くなるでせう。
肉の脂も噛めないほどに。
けれども
あなたが鵞鳥の肉を食べた時
骨まで
ぼり〳〵噛みました。
どうしてそんなに出來るのか
どうぞお話して下さい」
「私がまだ若い時分
あんまりおしやべりしたもので
顎が丈夫になつたのだ」
「お年をとつてもその通り
お目がたしかであらうとは誰も思ひませんでした。
お鼻の先に鰻をのせて
落しもせずに
よくもあんなに
歩けましたね
一體どうしてそんなにも
えらい事が出來るのですか」
「さつきからもう
三つもお返事をしてあげたではないか。
もうたくさんだ、

問　眉毛が薄くて困りますが、何かよい方法はありませんか。（鹿兒島照子）

答　お顔の中で一番人の注意を惹く所は目であります。其目に美しさを添へる眉毛の美しくあれかしと祈るは御婦人として當然の事であります。けれども眉毛は餘り色々お藥なぞを塗ると反つてダン〳〵毛を弱らせて益々薄くする許ですから、餘程平素の御注意御手當が肝要です。夫にはクラブ眉墨のやうなものをお用ひになり、常に眉毛にならつて薄く塗けますと、美しい自然の蛾眉を現す事が出來ます

問　白粉のよくつく方法を（岡山　ます子）

答　毎度申します通り、先づ地肌をよく整へる爲め、平素地肌の美を養ふクラブ洗粉で御洗顔なさつてから一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームの少量を掌で煉つて襟から顔へかけて擦込むやうに塗りますれば、地肌は全くよく整ひ、何時白粉を塗りましても綺麗につきます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こんなことで一日中閑をつぶすのはいやなこと、おどき。どかないと蹴とばすよ」

アリスが歌ひ終りますと毛虫は待ちかまへてゐたやうな調子で「その通ぢやありません」と申しました、「少し間違つたかもしれません」とアリスが云ひますと毛虫は「始からおしまひまで違つてゐます」ときつぱりした聲で云ひました。

小説

勝利（五）

阪東みちゑ

「清川さんの輝久さんはやつぱりお父様似のやうだね、應揚に落ちついた様子が」

母がさつきの話から思ひ出したのか、突然にかう云つた。

「さうですなあ、それでも輝久君はあれで頭が好いんだから、前途有望でさあ」

「さうかい、お人柄はよし、門閥はよし、それで出來もおよろしければ、まあ出世のなさり放題だね」

「さあさう甘く行くかどうですか、存外出世の志願者は多いやうですから」

「それで何におなりになるつもりだらう」

「何でも卒業をすると、直に外交官の試驗を受けるのだつて云つて居ましたよ」

「さうかい、それは結構だね」

「あの妹さんの松子さんは、たしか富子と同じ年だつたね」

「えゝ、さうよ」

富子が茶碗を下に置きながら返事をした。

「それから豊子さんに輝行さん！ よいお子持ちだねえ」

母は自分の子供の數の少いのをいつも物足りなく思ふのであつた、富子を嫁に遣れば、直に輝久に嫁をもらはなくては、後が淋しくていけないだらうとまで考へて居るのであつた。

「松子さんは淑しいよいお孃さんだね」

「ゑゝ、やさしい方よ、學校でも評判がいゝのよ」

「お前は一體何になるつもりなの、早く一人前になつてくれなくちや、お母さんも氣がかゝりで仕様がないぢやないか」

平氣な顔をしてカステラを頰ばつてゐる健吾の方を見た。

「僕は今に大成功をするんですよ。頭は中等だけれど、これでなか／＼考へは進歩して居る人だから、ねえ富さん」

十二

「私しらないわ、そんな事、」

「知らなくちやいけないな、今にねどこか殖民地へでも出かけて行くのさ、偶然すると南洋の帝王にでもなりかねない勢なんだよ」

「お前そんな呑氣な事ばかり云つて居ないで、官吏になるのなら、今からお父さんにお願ひして、その方に道をつけておくやうにおしよ」

母は引きも便宜も得易い官界へ悴をおいて、父の跡をつがせたいと思つて居るのであつた。

「だつて僕官吏は嫌ひなんだもの、こせ／＼ばかりして居て、それよりか自由な新世界へ出かけて行つて思ふさま活動がして見たいんだ。ねえ富さん、贊成しないかい」

「贊成してもいゝわ、屹度成功なさるなら」

「成功するともさ、そんな事わかりきつて居るぢやないか」

「帝王におなりになつたら、私を女王の資格で一度招待して下

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さらなくて？

「あゝいゝとも、大いに歓待してやる」

「氣樂な事ばかり云つて」

母もつひ釣り込まれて笑ひ出した。

「さう云へば、私いつかお正月中に一度學校のお友達をお招びしやうかと思ふの、學校の寄宿舎はお正月でも御馳走がないんだつて、お母様よくつて？」

「あゝいゝとも、此月中ならお父様がお留守だから、いつでも差支ありませんよ」

「今度の日曜はいけなくて？ 文子さんと、千代子さんと、房子さんと、それから里江さんと、いつも遊ぶお友達だけお招びしたいと思ふわ」

「和子さんにも來ておもらいなさいよ」

「えゝさうしますわ、私嬉しいわ、みんなに御馳走して、蓄音機をおきかせして、いつかお父様から戴いた畫帖をお目にかけるの」

富子の顔には、自分が主人役になつて、みんなを喜ばせやうと云ふ滿足と、かういふ機會に友達の歓心を得て、人望を自分の身に集めておかうと云ふ希望に輝いた。

「僕が尺八を吹いてやるよ」

「有難いわ、さうしていただけば、私は房子さんにお願してお琴をひいていただくから」

外の風はなか〳〵やみさうな景色もない。絶えず颯々と音を立てゝゐて時々思ひ出したやうに窓と樹木の枝を鳴して行く。三人は牛乳のなくなるまで紅茶を飲んだ、菓子皿のカステラは多く健吾が平げた、母は火鉢の上に掛つた柱時計を一寸見た。

「もう十時だね、それぢやあ富さんのお客は今度の日曜と決めて、そろ〳〵お寢みにしやうかね」

二人は母に挨拶をして、各々の部屋へ引取つた。

婦人の 仕事に好適せる 趣味と實益ある 家庭的產業

鶉(各種) 小鳥 密蜂 乳用山羊 食用家兎 種鶏種卵 七面鳥 分讓

□詳細目錄往復葉書にて申込次第進呈 東京目黑 白明園

内科 小兒科
眼科
耳鼻咽喉科
院長正六位 矢野貞
(各科分擔入院應需)
牛込區稲田町三六(犬養邸傍)
飯口町停留場ヨリ三丁

外科
皮膚病、花柳病
泌尿、生殖器病科
婦人科
慈專 醫學士 林亨
新潟 醫學士 矢野中
復陽堂兄弟醫院

個人教授 裁縫手藝

和服、洋服、刺繍、造花、編物、袋物、摘細工
綿細工、絞花、縫細工、壜細工、儀式用折紙並ニ水引結方
茶之湯、煎茶、生花、投入花、盛花、割烹、洗濯
染絞、琴山、薩摩琵琶、謡曲
以上各科共何時にても入學を許す
家事、國語、算術、英語、圖書
以上各學科は隨意學修すること得

詳細は規則書 郵券二錢を要す

東京麹町區上六番町七番地
私立 大妻技藝學校
電話番町一二二〇
振替東京三一六〇九

十三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口女子大學へ一萬圓下賜　皇后陛下には成瀬校長病氣の趣を聞召され、二日日曜にも拘らず特別なる御沙汰により取急ぎ麻生學監を宮内省に召し、日本女子大學校擴張費の中に金一万圓を御下賜相成りました。

◉李太王國葬儀執行　三月三日故李太王殿下國葬儀京城に執り行はる、午前六時德壽宮内殯殿にて遣奠の儀に始り、靈柩は九時三十分舊訓練院の葬儀場に到着し、勅使御使を初め奉り、皇族殿下御代拜の後御喪主李王殿下、李王世子兩殿下以下の拜禮あり、玆に純日本式に依る國葬儀は終り、午後は純朝鮮式の古式に依り、一時半葬儀場進發東大門外一里なる淸凉里に到り、路祭を行ひ、沿道三十萬の鮮人が哀號慟哭の中を四日午前一時金谷里の御墓所に到着し、同日午前八時半より埋柩式執り行はせられました。

◉選擧法案上程さる　二月廿五日午後一時十五分より開かれたる衆議院本會議に政府提出の選擧法改正案上程され、床次内相の說明ありたる後、憲政會の齋藤隆夫氏は政府案の納稅資格三圓案を駁して二圓案を主張し、更に知識階級者にも選擧權を與ふべしと論じ、内相之を反駁して、知識階級は全國にて五十萬人のみ、此一部階級に與ふるは不公平也と言ひ、今井嘉幸博士は「納稅資格二圓三圓の爭は一世紀前歐州にて爲されたる處、今我が國にては議場一歩を出づれば、普通選擧の聲囂々たり、何故今日普通選擧を實行せざるや」と論じ、内相の答辯ありて質問打切りとなり、國民黨憲政會兩案と同一委員に附託と決し六時半散會しました。

◉普通選擧大示威運動　普通選擧期成同盟會主催の大示威運動は、警視廳の注意訓令をも撤回せしめて、三月一日午後一時から豫定の通り擧行されました。定刻迄に日比谷公園に會する者約二萬と注せられ、今井嘉幸博士の開會辭あり、豫備騎兵大尉西本國之輔氏は行列の總指揮官として馬上行列の先頭に先ち、普通選擧の歌を歌ひ乍ら行列は日比谷を出て、櫻田本鄕町より銀座通りに出て、宮城前に君ケ代を合唱し、議院に到り「吾人は速に普通選擧の實行を期す」といふ決議文を大岡議長に渡し、再び日比谷に集合して四時過無事散會した。警視廳は多數の正服私服の巡査を出して行列の取締に任じましたが、行列は何等の事件をも起さず、模範的に實行されたのであります。

◉普通選擧案提出する　國民黨の六人組及無所屬團員、憲政會を脫黨せる黑須龍太郎氏等二十一名の署名にて、普通選擧法案は四日衆議院に提出されました。

◉我普選運動と英紙　我國に於ける普通選擧運動は、英國に於て多大の興味を以て迎へられ、マンチエスター、ガーザアン紙は之れ日本に於ける選擧權の擴張は、選擧界の腐敗を矯正する効果あるのみならず、其内治外交政策を純化し、官僚政治の弊を除くを得べし、而して日本が今一層民本化するは、現下に於て特に緊要なる事なりと論じた由です。

◉支那和平會議停止　上海に開會中なりし支那南北和平會議は陝西に於て北軍が猛烈に進擊する事より南方の抗議提出となり、遂に北方總代表は北京政府に對し總辭職を申出で、南方代表等は中外に對して和平會議の經過を宣布し、一日より停會しました。

◉米大統領の宣明　米國大統領ウイルソン氏は、二月廿五日一先づ巴里より歸來し、ボストンに於て歡迎に答へ『米國は今や全世界の信賴の的となつた、若し米國にして之に報ゆる處なくば、其結果は考へ及はぬ事がある』と激勵しました。

◉米國の禁酒反對運動　米國にては憲法を以て七月一日より禁酒を實行されますので、紐育の勞働組合會員二十萬人は麥酒業解禁を主張し、若し背かられば七月一日を期して同盟罷業を爲す事を可決しました。其他諸市の勞働者も、之に倣ふ模樣がありますと。

◉我軍戰死者二百餘名　二月二十六日大分步兵第七十二聯隊第三大隊及び野砲兵一中隊は、アレキセーフスク北方の過激派とタウク附近に於て戰鬪を交へ、敵を擊退しましたが、非常の激戰で、大隊長田中勝輔少佐、西川逵次郎大尉、竹本一等軍醫以下二百餘名の戰死者を出し、敵も多數の死者を遺棄して遁走しました。

◉朝鮮人の不穩　京城にては國葬を前に控へた一日南大門前にて不穩な檄文を配布した鮮人あり、同日鎮南浦では基督教徒數百名、旗を押立て、市内を練り步き、主謀者引致されました。二日京城にては基督教各學校生を初め、數萬の鮮人舊國旗を手にして市中を練行し、不穩を極めましたが、三日國葬當日は平穩に歸しました。

◉京都に重大事件起る　京都五條署にては、二月廿六日より大活動を開始し、社會主義的秘密出版物を爲したる印刷業天林崇山鹿泰藏〔二〕染種商上田蛾蕃〔二〕意近家長澤青衣〔二〕北他を取調べ、右三名は一日夜遂に收監されました。

◉英皇太子と伊内親王　英國皇太子殿下と伊太利皇帝第一皇女ヨランダ内親王殿下との御婚約は、今より三年前傳へられた處ですが、昨今餘程進んだ様だと傳へられます。英皇太子殿下は今年二十六才、内親王は十九才で絕世の美人にいらせられるさうです。

◉暹羅皇弟殿下御入京　暹羅皇弟ロッボリー殿下には、前駐日公使ザボニー氏等十六名の御一行にて御來朝、二日午前入京遊はされました。一二箇月御滯在

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實業及教育の御視察をなされます。

●巴里を訪れたロ氏夫人　ローズヴェルト未亡人は長男テオドア・ローズヴェルト大佐同伴にて人知れず巴里に來り、二月十八日自動車を驅つてフェール・アン・タルドノア附近なる愛息ケンチン飛行中尉の墓に詣で、一束の花環を墓前に捧げましたと。

●新學士會員　理學博士池田菊苗氏は、廿八日勅旨を以て帝國學士會員を仰付られました。

●東京市の三助役　廿八日の東京市會は市助役として元門司市長永井環、元市助役淺草區長山崎林太郎、下谷區長戸野周二郎の三氏を選擧しました。

●常陸丸船員等歸る　一年有半獨逸の俘虜となりたる白石海軍機關少佐を初め、常陸丸船員木村一等運轉士以下十五名の高級船員は、伊豫丸にて四日午後三時神戸着歸朝し、五日入京しました。

●後藤男父子渡米　後藤新平男は令息一藏氏と共に四日横濱出帆のコレヤ丸で渡米しました。同船には新渡戸博士、宮川醫學博士、坪上駐英大使館參事官、大阪商業會議所會頭稻畑勝太郎氏 及令孃等知名の士多數便乘しました。

●天洋丸の船客　二月廿七日正午横濱出帆の天洋丸には政界の名士 安達謙藏を初め堀切内務書記官、大塚前神奈川縣警察部長、俳優上山草人、山川浦路、岡本綺堂、伊坂梅雪氏等を米國へ運びました。

◉成瀨校長永眠す　日本女子大學校長成瀨仁藏氏は、一月以來肝臟癌を病み、療養中、二月末より重態に陷り、三月四日午前八時廿分遂に眠るが如く逝去されました。享年六十二。之より先危篤の報天聽に達するや特旨を以て從五位に叙せられました。葬儀は神佛基何れにも依らず、同校内にて九日午後二時より全校友學生喪主となり、告別式を行ひ、雜司ヶ谷墓地に葬る事となりました。

●フォリル大佐病む　佛國飛行將校團長フォール大佐に、日本にはない佛國軍隊病に罹り、二月廿七日赤十字病院へ入院しました。

◉林、宮川兩女史歸る　婦人矯風會より派遣されたる西伯利慰問の林歌子 宮川靜江兩女史は、クラケット女史と共に五日東京驛着歸朝しました。

◉米價漸く安し　今回佛蘭西政府より西貢米の輸出特許擴張され、我國への輸入多額に上る事となりましたので、二月下旬に至り米價は俄然下落を續け、一時の高値から見ると三圓方安の 三十六圓臺になり、小賣白米も多少値下されました。今後未だ〳〵下る見込です。

◉澤村博士の玄米食研究　農學博士澤村眞氏は玄米と白米との 優劣を研究發表しました。之に依ると玄米は白米に比し八%だけ消化率尠く、而も滋養分量は白米に優る僅少であるから、玄米食は事實に於て餘り奬勵し得る ものではないとあります。

◉美術館建設運動に着手　美術館建設期成同盟會にては、二月廿五日委員會を開き、三十名の評議員を選定して愈々運動に着手する事となりました。

◉仙臺市の大火　二日午前二時半仙臺市南町仙臺郵便局隣民家より出火し、六百七十餘戸を燒失し同八時漸く消止めました。東北學院普通部も類燒しました。全市の損害千万圓と註らる。

◉電車と自動車開通　東京驛萬世橋間院線電車は一日早朝より、市街乘合自動車は一日午前八時から開業し、其日七千人を運轉し好成績を上げました。

編輯室から

▲成瀨校長の死、それは當然近く遇ふべき運命と知りつゝも、なほその訃報を聞いて、「きのふけふとは思はざりしを」とその餘りに早かりしを恨めしく思ふのも、怠り多い人情であります。今更ら筐底をあさつて頂いた御寫眞やふとした折の手紙やはがきをなつかしく眺め入りました。先生は能書家の系統であつたと申しますが、筆蹟は實に見事なもので ありました。卷頭のはがきは或る夏に編者の許に送られたもので、今はもう形見となつたのであります。▲火曜日先生の逝去を聞いて、直ちに編輯を變更し、我が女子教育界の恩人を記憶して、この號を捧ぐることゝ致しました。

人事相談所

本所は婦人週報社の附屬事業として、絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査等の御依頼に應じ親切と誠實を以て其の任に當ります。但し依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。御相談の筋は成べく簡明に書面にてお申越し下さい。萬一面會の必要ある方は、木曜午後零時から四時迄の間にお出で下さい。

東京牛込區市谷田町二丁目十七番地婦人週報社内
人事相談所
電話番町四五六六番

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部	金五錢五厘（郵税共）
△一ヶ月、四部又は五部）	金廿三錢
△三ヶ月分	金六拾六錢
△半年分	金壹圓廿錢
△一ヶ年分	金貳圓四十錢
△外國一年分	金參圓廿錢

廣告料
御照會次第詳細御回答申上げます

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷株式會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二五一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場中里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニヨロシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
發賣元 甲斐產商店
東京市日本橋區通旅籠町
電話浪花八七〇、八七一

◎内科◎小兒科

宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子

本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
（電車高等學校前下車）
電話新設小石川三五三一

家庭衞生講習會

一、目的 家庭に必要なる衞生及衞生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日一週二日午後二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。（希望者五名以上に達すれば開始す）
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

耳鼻咽喉科專門

（入院隨時）

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次

大野醫院

東京京橋區新肴町二番地
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京至誠病院

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 三二五七

產婦人科 小兒科

井出茂代

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京 二二三一番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學校へ

お通ひのお方ならば、最近和漢藥の復興に伴て中將湯の如き成藥が智識階級を中心として熱狂的歡迎を受てゐるとを御存じの筈です歐米の醫療界ですら中將湯の好評は嘖々たるものです

近代醫學が

卓効を確認せる

國產靈藥

中將湯の偉力

血の道 子宮病

主治効能

●子宮病●血の道●逆上頭痛●下腹痛●夜眠れず●難產流產●癇高ぶり●つはり●こしけ●產前產後●血ぶごり●氣ふさぎ●月經滯り●膣加答兒●腰足冷込●內膜炎●婦人神經●[illegible]不

定價

貳日分	金參拾錢
四日分	金六拾錢
壹週分	金壹圓
貳週分	金壹圓九拾錢
參週分	金貳圓七拾錢
六週分	金四圓參拾錢

中將湯

東京市日本橋區通四丁目
本舗 津村順天堂本店
電話本局六二一・六二三
振替東京六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
支舗 津村順天堂支店
電話南二五番
振替口座大阪四五五六番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA